

問 図書館複合施設への村長の考えは

答 議論を踏まえて段階が来れば示す



丸山勇太郎 議員

【図書館複合施設】

問 平成34年度完成を目指す図書館複合施設は、長野オリンピック以降の最大公共施設事業になる。基本構想策定段階から場所の問題も含めて実現への落とし込みができるのか不安。担当課、イニシャルコストの想定、特定財源、図書館長の考えを問う。

答 年度内には有識者会議において、複合化する機能の絞り込み、事業費の目安、建設用地についても方向性を出す。基本構想と基本計画までは総務課以降は生涯学習スポーツ課に所管させる。イニシャルコスト・財源・館長は、複合化する機能次第であり、有識者会議の検討段階では言えない。

問 村長の腹積もりを聞いています。すべて有識者会議に丸投げなのか。村が考えなければならぬこともある。場所と予算はある程度示していくことが良いのでは。村のことを一番分かっているのは職員であり村長であるはずだ。村長自身が考えを持ち示唆することが大事。

答 今は色々な意見を聞く段階。有識者会議の議論が煮詰まった時点で示す。

問 複合施設とするものは、こども・子育て支援施設だと思いがいかか。

答 それは最低限必要だと思っている。

問 図書館は学校近くにあつたほうが良い施設。避けたい通れない統合小学校への建替え構想とは、場所(位置)という面で双方に影響する。この際学校のことも本気の検討に入る考えは。

答 教育長 小学校統合と小中一貫は、双方を含めた中で検討していかなければいけない。小学校から1km以内に図書館は必要。

問 小学校建て替えを含めたグラウンドデザインをまず創るべきでは。

答 学校統合議論はこれまで避けてきた。課題としては大変重要だが、さりとてそれで図書館を先延ばしすることはない。

問 予算編成方針と課題への予算措置は

答 将来を見据えた予算編成をする

【新年度予算編成】

問 村長が職員に示した予算編成方針と、気になる課題、①学校へのエアコン、②広報不備を補つスマホアプリ、③ウィング21雨漏り対策、④議会全協室の録音不備、⑤小水力発電について伺う。

答 総合戦略・総合計画の目標達成に向けた取り組み、将来を見据えた地域力向上を目指すよう指示した。真に必要な

事業を取捨選択して進めていく。課題の①～④までは予算措置する。⑤は予算措置こそしないが研究を進める。

問 各種計画策定に多額の委託料を盛つての外注が多いことについての見解は。

答 一概に良い悪いは言えない。マンパワーが不足する中で一定の委託は今後も行っていくが、役場が主体的に作ることの意識を職員に徹底する。



松川村の図書館複合施設「すずの音ホール」
ここは建築費用の上限を10億円と決めて建設した。
広々とした公園を併設し、理想的な環境を整えている。